

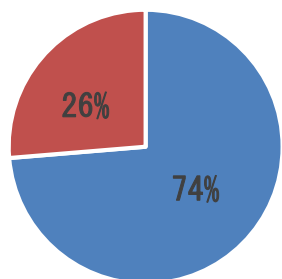


平成 3 1 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	水素・再生可能エネルギーフェア事業
補助事業者名	鹿児島県
補助事業の概要	県民の再生可能エネルギーへの理解を深め、導入促進の足がかりとするため、「水素・再生可能エネルギーフェア」を実施する。 内容 ・水素や再生可能エネルギーに関する県内企業・関連企業の製品展示・体験コーナー（10 ブース） ・エネルギーの地産地消ミニ講座 ・水素・再生可能エネルギークイズラリー ・親子再生可能エネルギー工作教室 ・再生可能エネルギーぬりえコーナー
総事業費	764,255円
補助金充当額	764,255円
定量的目標	1 「エネルギーの地産地消」の考え方について、広く県民に周知を図る。  ○ エネルギーの地産地消に取り組む企業（地域新電力事業会社等）や、開催地の地域特性に沿った再エネ関連企業（例：南薩地域→地熱、大隅地域→バイオマスなど）の展示を積極的に進め、出展者と事前に展示内容のすり合わせを行うことで展示の充実を図る。エネルギーの地産地消の考え方を学ぶことができるミニ講座も実施する。   その結果として  ● ミニ講座後に実施するアンケートに「エネルギーの地産地消」という考え方を理解できたかどうかを問う設問を設け、 <u>70%以上の理解を目指す。</u>  2 安定的な発電が可能な3つの発電方式（水力・地熱・バイオマス）についての興味・関心を平成 30 年度よりも上げる。

	<p>○ 水力・地熱・バイオマスに関連した展示を平成 30 年度と同程度の数とし、<u>出展者と事前に展示内容のすり合わせを行うことで展示の充実を図る。</u></p> <p>【参考】平成 30 年度出展数（団体重複あり） 水力：4 / 地熱：2 / バイオマス：3</p> <p style="text-align: center;"> その結果として</p> <p>● 来場者アンケートにおける 3 つの発電方式への興味・関心を昨年度よりも上げる。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">[平成 30 年度]</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td style="text-align: center;">[平成 31 年度]</td> </tr> <tr> <td>水 力：13%</td> <td></td> <td>水 力：18%</td> </tr> <tr> <td>地 熱：16%</td> <td></td> <td>地 熱：21%</td> </tr> <tr> <td>バイオマス：13%</td> <td></td> <td>バイオマス：18%</td> </tr> </table>	[平成 30 年度]	→	[平成 31 年度]	水 力：13%		水 力：18%	地 熱：16%		地 熱：21%	バイオマス：13%		バイオマス：18%
[平成 30 年度]	→	[平成 31 年度]											
水 力：13%		水 力：18%											
地 熱：16%		地 熱：21%											
バイオマス：13%		バイオマス：18%											
<p>補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）</p>	<p>1 「エネルギーの地産地消」の考え方について、広く県民に周知を図る。</p> <p>指宿市の地域特性に沿った展示（地熱発電等）を行う出展者には、事前に「展示内容確認シート」を記入してもらい、展示内容のすり合わせを行った。</p> <p>また、ブース出展者を講師として、約 30 分間のミニ講座「吞んで創ってエネルギー～鹿児島県産焼酎かすで地産地消～」を両日実施した。講師と事前に打ち合わせを行い、平成 30 年 3 月に県が策定した「再生可能エネルギー導入ビジョン 2018」の内容をふまえた講座内容とした。</p> <p>ミニ講座終了後には、講座参加者を対象にアンケートを実施した。集計結果は次のとおり。[回答数：19]</p> <p>Q. 「エネルギーの地産地消」という考え方を理解できましたか？</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>1. 理解できた</td> <td>2. 少し理解できた</td> </tr> <tr> <td>3. あまり理解できなかった</td> <td>4. 理解できなかった</td> </tr> </table>	1. 理解できた	2. 少し理解できた	3. あまり理解できなかった	4. 理解できなかった								
1. 理解できた	2. 少し理解できた												
3. あまり理解できなかった	4. 理解できなかった												



■ 1. 理解できた  
 ■ 2. 少し理解できた  
 ※3, 4の回答はなし

目標どおり 70%以上の参加者が「エネルギーの地産地消」について「理解できた」と回答しており、地域特性に応じた再生可能エネルギーを導入していくことに対して、県民の理解を促進することができたといえる。

**2 安定的な発電が可能な3つの発電方式（水力・地熱・バイオマス）についての興味・関心を平成30年度よりも上げる。**

上述のとおり、地熱発電等に関連する展示を行う出展者には、事前に「展示内容確認シート」を記入してもらい、展示内容のすり合わせを行った。

来場者アンケートにおける3つの発電方式への興味・関心は、次のような結果となった。

	目標	実績
水 力	18%	17%
地 熱	21%	21%
バイオマス	18%	16%

地熱発電に関する興味・関心は目標の21%を達成することができた。また、水力・バイオマス発電については、目標の18%を達成することはできなかったが、昨年度の13%を上回る結果となった。

補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約の目的	ふれあいプラザなのはな館使用料
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方	指宿市
	契約金額	6, 300円
	契約の目的	広報チラシ印刷
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方	株式会社鹿児島新生社印刷
	契約金額	65, 450円

	契約の目的	会場設営業務委託
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方	株式会社フタバ
	契約金額	572,000円
	契約の目的	ソーラーバット購入
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方	有限会社大山教材社
	契約金額	47,905円
来年度以降の事業見通し	<p>水素・再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に向け、特に地産地消電源の導入の重要性に鑑み、理解醸成のための普及啓発に加え、来場者自らが導入を検討するきっかけとなる普及啓発にも力を入れていく。</p> <p>特に、最近のトレンドである防災・減災の観点等を交えつつ水素・再生可能エネルギーの普及啓発を行うことで、水素・再生可能エネルギー事業に対する県民等の理解促進及び水素・再生可能エネルギーの導入促進を図る。</p>	

(備考)

- (1) 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- (2) 補助事業の成果及び評価の欄には、(1)で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。  
それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- (3) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- (4) 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。